

## (2) 社会状況

### 【面積】

面積 25.40km<sup>2</sup> 有人島数 7 無人島数 10

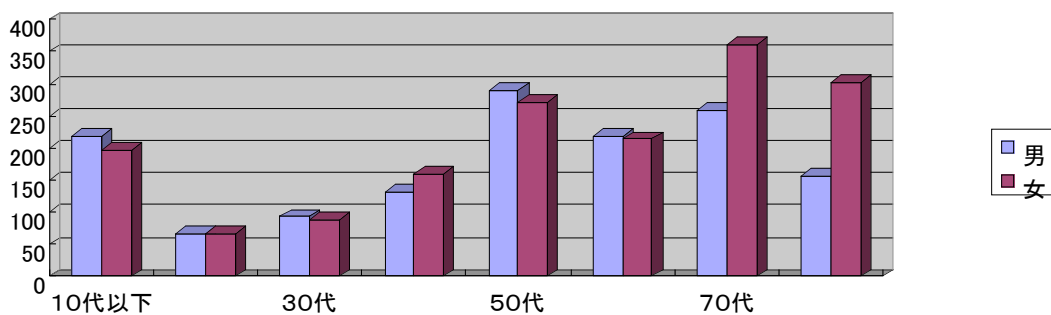
### 【人口・世帯数】

人口 3,057人 (平成21年2月現在)

世帯数 1,373戸

高齢化率(65才以上の割合) 42%

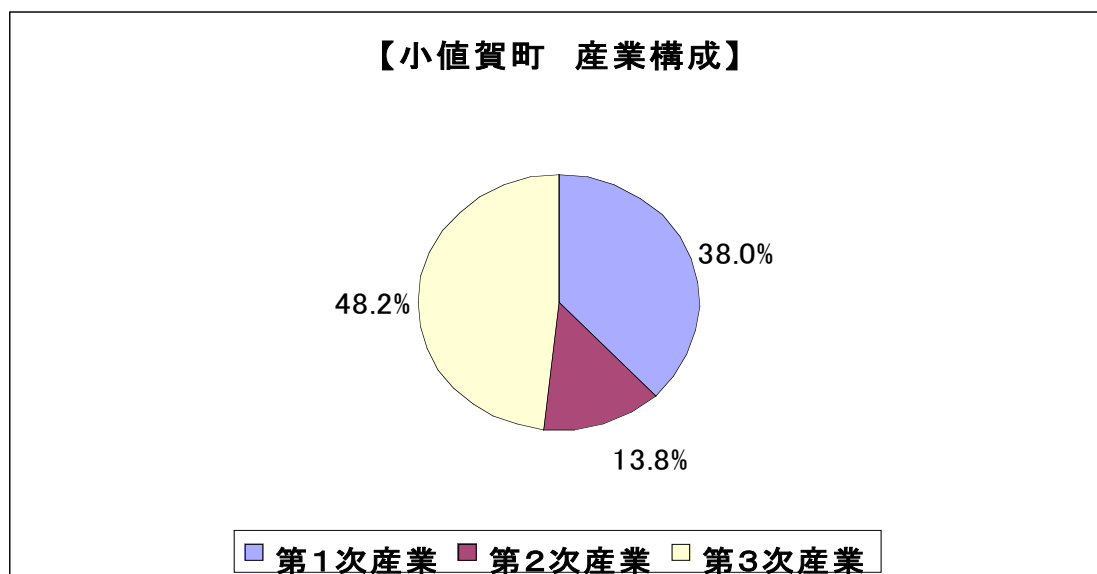
出生数 23人年(平成19年)



### <島別人口・世帯数>

	人口(人)	世帯数(戸)
六島	30	11
野崎島	1	1
納島	30	12
小値賀島	2599	1181
黒島	70	24
大島	84	28
斑島	243	116

【職業・産業】



<主幹産業>

農業(肉牛飼育・米作)、漁業、観光



肉牛飼育



漁業

## 【トピック】

### ○長崎キリスト教関連遺産の世界文化遺産登録推進

長崎県内に数多くあるカクレキリシタンの歴史を保存する歴史遺産を世界文化遺産に指定するため、県を上げて活動に取り組んでいるところ。小値賀町内においても野崎島にある野首天主堂が遺産の候補となっており、登録に向けて環境整備などに取り組み始めている。

### ○市町村合併

小値賀町は、人口3千人強の小さな自治体であるが、住民の意思により市町村合併をせず、単独での生き残りを模索中。



旧野首天主堂

## 【自然体験・環境学習の推進】

### <おぢかアイランドツーリズム協会を構成する、3つの母体>

#### ☆ながさき島の自然学校☆

島の有志が中心となって設立。現在も続く子どもキャンプ事業「子ども自然王国宝島」を夏季に行っていた。学塾村の管理人も自然学校スタッフが行っていた。

#### ☆小値賀町観光協会☆

従来のいわゆる「観光協会」。夏季「アジ釣り大会」など積極的なイベント活動なども行っていた。

#### ☆小値賀アイランドツーリズム推進協議会☆

おもに民泊の会。ながさき島の自然学校主催事業「子ども自然王国宝島」の民泊（ホームステイ）をボランティアで行っていた民家さん数軒を中心に合計 10 数軒の民家と事務局で H17年にスタート。民泊をボランティアの体験活動ではなく、商品と位置付け、事業展開をはかることを目的に設立。現在の民泊事業展開の素地を築いた。

### <協会組織>

NPO 法人を立ち上げた初年度(H19 年度)で…

事業収入 約 6000 万

従業員数 8名+パートアルバイト2名

集客数 約 5000 人泊

NPO 法人会員数 80 名

マスコミ取材(テレビ・新聞)約 40 件

### <協会と外部組織との連携>

環境教育関連団体…体験プログラムづくり

青少年教育団体…青少年育成事業

旅行会社…小値賀を使った旅行づくり

国・長崎県・周辺自治体 その他自治体

### <小値賀町長期宿泊体験協議会の立ち上げ>

平成 20 年度より開始された「子ども農山漁村交流プロジェクト～120万人自然の中での体験活動の推進～」(総務省・文部科学省・農林水産省連携プロジェクト)を受けて、「先導的受入れ地域」として、「小値賀町長期宿泊体験協議会」を設立した。

小値賀町、漁協、農協、などのバックアップを受け、これまでのノウハウを生かして、おぢかアイランドツーリズム協会が、協議会の窓口として機能している。